



ご本部生神金光大神大祭参拝 (R 7. 9.28)

# くぼち

発行所

金光教堀江教会

青年部

松山市堀江町甲 436

☎ 978-0472

## お祈り

やってあげるという思いもなく

みかえりを求めることもなく

人々に寄り添って

神様のお守りが分かって貰えるよう

日々の祈りをささげたい

「くぼち」のねがい  
「わが思い」を聞かさんとする人の心は高く  
「人の思い」を尋ねんとする人の心は低し。  
疲れた人の心を癒す言葉は  
くぼいところの心より出るなり。  
人は、くぼいところの心を慕いて集う。

堀江教会ホームページ

<https://kuboti.kamihitonet.com/index.html>



## 「嬉しく楽しく感謝を 持って御大祭を！」

教会長 馬越美明

当教会の生神金光大神大祭を迎えるにあたって、思い出すことがあります。

3年前、家族の薦めで循環器病院で診察を受けました。病状は心房細胞不整脈のつで急性心不全と診断を受け、病院長から「あなたは、今日は帰れませんよ。即入院です」と告げられました。

一週間後、わが教会の御大祭を迎えることがあり、入院の準備をするまで待つてほしいと言いましたら、「今日来なかったら、

あなたは死んでいましたよ」と厳しく言われました。

さうそく集中治療室に運ばれて、酸素吸入や心電図、排尿管等、あつという間に管だらけになり、ベッドに横たわることになりました。

これまでずっと症状がでていたはずなのに、私はまったくそれらしいことも気づきませんでした。改めて金光様は、こちらが願わずともお祈り支え続け、て下さっていたことを心底思い、有り難く涙があふれ出しました。

御大祭の事は長男、妻を始め信徒たちが神様からおかげを受けて、ご用を進めてくれるだろう、これも神様からのおためし

なのだと考え、きつとお繰り合わせいただくろうと思つたら、すぐ心が楽になりました。

今日、原稿を書くにあたって、まずは3年間、これまでのような御用の能力は無いにしても、ご用に使うてもらおうと言う気持ちが増したと思います。

病氣をして二時は、予断のならない医者からの忠告を受けておりまして、用心をしていました。加えて長年親しくご用を共にしてきた、手続き関係の教友が亡くなり、同世代であり、シヨツクを受け、落ち込みましたが、これではいけない、一日日を大切に、家族と共に残りの人生を

日々楽しく過ごさねばならないと、思わしていただきました。

以前兄が「病気が治ったので有り難いのではない。それは元にかえたのであって、本当のおかげは病気が治って神心しんじんがどのように変わって、有り難く感じられるようになったか」が大事なのではないかと言ってくれたことがあります。そのことから、自分がどれほど変わることが出来たのか自問することがあります。『言つは易し行つは難し』人には言えてもなかなか自分はどうであろうかと言つことでしょうか。

ある時こういふことがあります

した。夕食の時、長男にいらだつことがあつて、ちよつとしたことなのに、大きな声をあげてしまったのです。

その夜、やはり気分が悪く寝付かれないのです。翌朝、お広前ではつたり長男と会いました。

私は思わずお結果に座つて欲しいと言いました。昨夜の事を考え続け、信心しておるのに大気ない言葉を発したものと反省してからのごとでした。

しばらくして、羽織袴姿の長男に御取次を受けて貰いました。全部聞き終わつた後で、「人間ですからいろいろと心配はあります。その心を持って信心を進めて下さい」とのごとでした。

教祖様の教えに、お参りして、ありがたい話と思つて聞いている時には心が円まるい。わが家でいろいろのことが思われるときには腹が立ち、心に角が立つ。と言われました。

まさしくその通りで反省をいたしました。有り難い事に、そのことで、お互いのわだかまりが晴れ、普段通りに言葉を交わすことが出来ました。

よくよく考えてみれば、一番近くにいる妻に対して、つい生活の上に余計な事、余分な事を云つてしまう事があります。後で気が付いて、どうしたものであろうかと思ひます。

特に日々の生活に加え、障害

をもっている妹の生活一切の面倒をみているのです。大変だなあと思いつつ、これまでなかなか「苦勞さん」とか「有難う」とか、そういうことが出来ていませんでした。

この度の病を通して、神様から与えられた命を大切にしながらいかねばならないと感じています。

そして「人の心の重荷にならぬよう謹みてものは言うべき」との四代金光様のお詩に添って生き、今は介護のお手伝いをとも思っています。

## 行事報告

▽中予一区教師会9月6日(土)



▽秋季霊祭9月23日(祝)



## お知らせ

◎当教会生神金光大神大祭

11月23日(祝) 午前11時より

◎教会布教功労者報徳祭

12月21日(日) 午前11時より

## ◎越年祭

12月28日(日) 午前11時より

## 編集後記

4月13日に開幕された大阪関西万博は10月13日で閉幕となる。人気のパビリオンには長蛇の入場者が時間待ち。大きなトラブルもなく受け入れたのは、日本の国民性だと誇らしく思う。

一方インドネシア館では来場者が少なく、危機を感じたスタッフが総掛かりで「キテクダサイ」、「ミテクダサイ」とリズムよい呼びかけに、思いがけない入覧で混雑したという。このことから、芯しんから喜びを表し、楽しんでいけば、みんなが集まって来るのだと深くそうありたいと思った。

おくやみ

故野間須子恵子様(96歳)

令和7年6月16日ご帰幽

御霊様のお道立てを願ひ、ご家族のお繰り合わせをお祈りいたします。